



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月7日

上場会社名 蛇の目シン工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6445 URL <https://www.janome.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大場 道夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小林 裕幸 (TEL) 042-661-3071
 四半期報告書提出予定日 2018年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	19,189	△5.3	458	△51.0	642	△41.7	370	△49.5
2018年3月期第2四半期	20,258	6.0	934	△13.5	1,103	24.9	733	89.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 795百万円(△32.3%) 2018年3月期第2四半期 1,175百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	19.17	—
2018年3月期第2四半期	37.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	51,488	25,743	48.3
2018年3月期	51,009	25,172	47.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 24,886百万円 2018年3月期 24,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	41,000	0.5	1,800	△13.3	1,800	△14.7	1,100	△20.9
								56.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年3月期2Q	19,521,444株	2018年3月期	19,521,444株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	189,819株	2018年3月期	189,819株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年3月期2Q	19,331,625株	2018年3月期2Q	19,331,719株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	12
(1) 所在地別セグメント情報	12
(2) 海外売上高	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、設備投資の増勢が続く米国や雇用増加を起点に堅調な個人消費に支えられた欧州などを中心に景気は回復基調で推移いたしました。一方で、過熱する米中貿易摩擦の影響や米国金利の上昇に伴う新興国通貨全般への下落圧力等、先行き不透明感は依然として残りました。

わが国経済におきましては、堅調な設備投資や個人消費を背景に景気は緩やかに回復したものの、相次ぎ発生した自然災害が消費や企業活動に与える影響、米国の保護主義的な通商戦略などに起因する海外経済の不確実性等、景気の下振れリスクは解消されませんでした。

このような中、当社グループにおきましては、新製品の投入や各種展示会への出展等の諸施策を実施するとともに、業務効率化・生産性向上に努めました。

しかしながら当社グループを取り巻く経営環境は厳しく、特に家庭用機器事業において苦戦が続いたことから、当第2四半期の総売上高は19,189百万円（前年同期比1,068百万円減）、営業利益は458百万円（前年同期比476百万円減）、経常利益は642百万円（前年同期比460百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は370百万円（前年同期比362百万円減）となりました。

セグメント別の概要は、次のとおりであります。

なお、セグメント情報に記載の通り、報告セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は変更後の区分に基づいて記載しております。

<家庭用機器事業>

家庭用機器事業におきましては、スマートフォンと連動した刺しゅう専用機などの話題性の高い新製品の投入や、国内外で行われた展示会への出展、YouTubeやSNS等での情報発信等を通じ、お客様の目に触れる機会を多く提供し、ものづくりの楽しさを伝えることにより、需要喚起に努めました。

しかしながらミシン市場の停滞感は依然払拭されず、重要市場と位置付けている欧米市場の回復は思わしくなく、ロシア市場の復調を除いては新興国市場向け販売も低調に推移し、期初の販売計画から乖離するなど、苦戦が続きました。また、生産拠点であるタイの現地通貨が円、ドルに対し依然として高止まりで推移していたことなどが原価の押し上げ要因となり、利益面においても厳しい状況となりました。

その結果、海外・国内ミシンの販売台数は75万台（前年同期比4万台減）、家庭用機器事業全体の売上高は14,063百万円（前年同期比1,053百万円減）、営業利益は261百万円（前年同期比410百万円減）となりました。

<産業機器事業>

産業機器事業におきましては、精密機器の普及や工場の自動化を背景に設備投資が好調に推移する中、国内外の展示会への出展を通じ、業界におけるブランド力の強化に取り組みました。また、市場動向を的確に捉え、顧客ニーズに対応した製品の供給を迅速に行ったことで、卓上ロボット・エレクトロプレスの販売は共に好調に推移いたしました。特にエレクトロプレスにおいては、主に自動車部品関連企業からの需要を取り込み、第2四半期連結累計期間で過去最高の販売台数を更新いたしました。一方で、ダイカスト鑄造関連事業は、取引先が生産調整局面に入るなどの影響を受け、好調だった前期に対し、やや一服感が見られました。

その結果、産業機器事業全体の売上高は3,636百万円（前年同期比102百万円増）、営業利益は144百万円（前年同期比31百万円減）となりました。

<IT関連事業>

ITソフトウェア開発や情報処理サービス、システム運用管理のアウトソーシング等を行うIT関連事業の売上高は1,142百万円（前年同期比105百万円減）、営業利益は71百万円（前年同期比24百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は51,488百万円（前連結会計年度末比479百万円増）となりました。

資産の部では、流動資産が商品及び製品の増加等により23,491百万円（前連結会計年度末比575百万円増）となりました。固定資産は有形及び無形固定資産の減価償却等により27,996百万円（前連結会計年度末比96百万円減）となりました。

負債の部は、流動負債が支払手形及び買掛金の増加、短期借入金の減少等により17,177百万円（前連結会計年度末比18百万円増）となり、固定負債は退職給付に係る負債の減少等により8,567百万円（前連結会計年度末比109百万円減）となりました。

純資産の部は、利益剰余金、為替換算調整勘定の増加等により25,743百万円（前連結会計年度末比570百万円増）となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から131百万円減少し、5,987百万円（前年同期比600百万円増）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益665百万円、たな卸資産の増加507百万円、仕入債務の増加337百万円などによる資金の増減があり、847百万円の資金の増加（前年同期は702百万円の資金の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備・金型等の有形固定資産の取得による支出385百万円などにより、400百万円の資金の減少（前年同期は303百万円の資金の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少349百万円などにより、630百万円の資金の減少（前年同期は1,697百万円の資金の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期通期連結業績予想に関する事項につきましては、2018年10月30日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,293	6,124
受取手形及び売掛金	7,368	7,420
有価証券	341	351
商品及び製品	4,984	5,683
仕掛品	668	779
原材料及び貯蔵品	2,856	2,754
その他	629	617
貸倒引当金	△227	△241
流動資産合計	22,916	23,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,100	6,017
土地	14,471	14,486
その他（純額）	2,357	2,485
有形固定資産合計	22,929	22,989
無形固定資産		
その他	1,108	1,011
無形固定資産合計	1,108	1,011
投資その他の資産	4,055	3,995
固定資産合計	28,093	27,996
資産合計	51,009	51,488

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,007	3,390
短期借入金	10,980	10,592
未払法人税等	293	289
賞与引当金	520	667
その他	2,358	2,236
流動負債合計	17,159	17,177
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	3,433	3,433
退職給付に係る負債	4,485	4,407
その他	757	727
固定負債合計	8,677	8,567
負債合計	25,836	25,745
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,372	11,372
利益剰余金	7,116	7,294
自己株式	△325	△325
株主資本合計	18,164	18,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	171	184
土地再評価差額金	6,660	6,660
為替換算調整勘定	△301	16
退職給付に係る調整累計額	△384	△316
その他の包括利益累計額合計	6,145	6,544
非支配株主持分	862	857
純資産合計	25,172	25,743
負債純資産合計	51,009	51,488

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	20,258	19,189
売上原価	12,258	11,811
売上総利益	8,000	7,377
販売費及び一般管理費	7,065	6,919
営業利益	934	458
営業外収益		
受取利息	11	10
受取配当金	44	40
為替差益	139	122
その他	45	103
営業外収益合計	240	277
営業外費用		
支払利息	51	40
その他	19	51
営業外費用合計	71	92
経常利益	1,103	642
特別利益		
固定資産売却益	20	28
特別利益合計	20	28
特別損失		
固定資産除売却損	19	6
特別損失合計	19	6
税金等調整前四半期純利益	1,104	665
法人税、住民税及び事業税	279	267
法人税等調整額	71	23
法人税等合計	350	291
四半期純利益	753	373
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	733	370

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	753	373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39	13
為替換算調整勘定	312	341
退職給付に係る調整額	70	67
その他の包括利益合計	422	421
四半期包括利益	1,175	795
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,125	769
非支配株主に係る四半期包括利益	50	26

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,104	665
減価償却費	675	667
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△329	△80
受取利息及び受取配当金	△55	△51
支払利息	51	40
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,120	63
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△17	△507
仕入債務の増減額 (△は減少)	630	337
その他	△31	△33
小計	908	1,102
利息及び配当金の受取額	58	54
利息の支払額	△51	△40
法人税等の支払額	△213	△269
営業活動によるキャッシュ・フロー	702	847
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△60	△207
定期預金の払戻による収入	42	159
有形固定資産の取得による支出	△267	△385
有形固定資産の売却による収入	75	53
その他	△92	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△303	△400
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△983	△349
長期借入金の返済による支出	△442	—
配当金の支払額	△190	△191
その他	△81	△90
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,697	△630
現金及び現金同等物に係る換算差額	21	53
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,276	△131
現金及び現金同等物の期首残高	6,663	6,118
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,386	5,987

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,117	3,534	1,247	19,899	358	20,258
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	373	208	599	193	792
計	15,135	3,907	1,456	20,499	551	21,051
セグメント利益	672	176	96	945	△30	915

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	945
「その他」の区分の損失(△)	△30
セグメント間取引消去	19
四半期連結損益計算書の営業利益	934

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,063	3,636	1,142	18,842	346	19,189
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	421	221	661	175	837
計	14,081	4,058	1,364	19,504	522	20,027
セグメント利益	261	144	71	478	△38	439

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	478
「その他」の区分の損失(△)	△38
セグメント間取引消去	18
四半期連結損益計算書の営業利益	458

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「I T 関連事業」について重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるため、当社の共通費の配賦基準を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

3. 補足情報

(1) 所在地別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	13,686	3,044	294	3,231	20,258	—	20,258
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,825	—	8,081	0	11,907	(11,907)	—
計	17,512	3,044	8,375	3,232	32,165	(11,907)	20,258
営業利益	626	64	310	117	1,120	(185)	934

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米……米国、カナダ

② 東南アジア……台湾、タイ

③ その他の地域……イギリス、オランダ、スイス、オーストラリア、ニュージーランド、チリ、ブラジル

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	12,642	3,045	346	3,154	19,189	—	19,189
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,809	—	8,286	10	13,106	(13,106)	—
計	17,451	3,045	8,633	3,165	32,296	(13,106)	19,189
営業利益	521	117	164	71	876	(417)	458

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米……米国、カナダ

② 東南アジア……台湾、タイ

③ その他の地域……イギリス、オランダ、スイス、オーストラリア、ニュージーランド、チリ、ブラジル

(2) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,246	5,072	5,140	13,460
II 連結売上高(百万円)				20,258
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	16.0	25.0	25.4	66.4

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,212	4,962	4,686	12,861
II 連結売上高(百万円)				19,189
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	16.7	25.9	24.4	67.0

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米………米国、カナダ

② 欧州………イギリス、オランダ、ドイツ、スイス、ロシア

③ その他の地域…東南アジア、豪州、中東、アフリカ、中南米